
時々妖精

冬影 千草

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

時々妖精

【Nコード】

N7730Z

【作者名】

冬影 千草

【あらすじ】

「……マジ？」

「……マジです」

平和な日常はもう来ない！？妖精と出会ってしまった幸か不幸か冬馬君と一匹？でおくるクスツとでも笑ってもらえたら良いなっというお話。

プロローグ

「・・・い、おーいってばー!」
「いてっ」

顔をあげると、小さな女の子がほおをふくらませて立って・・・いや浮いていた。いわゆる怒ってますよっていうポーズをあからさまに出しているところが可愛い。

と冷静に分析した俺ほ褒めてつかわすいくら欲しいってプラマイゼロなんで出てきてんだああ!!

(アホ!見られたらどうする!?)
咄嗟とっさに隠してアホに問う。

「大丈夫、普通の人には視えないし聴こえないわ」
ない胸を反らせて言う。

(・・・さいですか)
疲れる。

今は授業中、昨日入学式があり高校一年生になった俺の名はあざなぎと糾木冬馬うま、今日も恒例で初めての先生に読み方を尋ねられる・・・と思っていたがそれはなかったことや居眠りしていたことはまた今度として、なぜ俺がこれ(頭の上に居座っている)と一緒にいるんだ? 当然の疑問である。俺にとっても。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7730z/>

時々妖精

2011年12月25日02時49分発行